

CELCO JAPAN株式会社

～ “ものづくり”を通して社会に貢献し、社業の発展と社員の幸福の実現を目指します～



倒壊したブロック塀



浸水した事務所



水没し使用不能になった設備



修繕・入替えされた設備



🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市東大洲1220番地の1
- 連絡先：0893-25-0033
- HP：http://www.celco.jp/
- 事業内容：電子機械器具製造業
- 代表者名：代表取締役社長 日浅 正一
- 企業のPRポイント：主にソーラーパワーコンディショナーのプリント基板、完成品の受託生産を行っています。技術サポート部門を有していますので、単なる受託生産に止まらず、技術的な提案も行っています。

🕒 災害前後の経緯

- 隣接する商業施設との境界にあったブロック塀が水圧で倒壊し、最初に水が入ってきました。工場内は1.7m程浸水し、機械装置がすべて使えなくなりました。倉庫も浸水し、お客様から預かっている材料も水没しました。
- お客様との関係から工場を長く停止することが出来ないため、全従業員が協力し被災から約1ヶ月で一部稼働までこぎ着けました。
- 特に乾いた泥の掃除に手間と時間がかかり、製造ラインで使用するコンテナは、高圧洗浄した後に竹串に布をつけて細かなところまで掃除しました。
- 費用面の問題もあり入れ替えた機械装置のほとんどが中古のものでしたが、グループ補助金がなければ、早期の事業再開は難しかったと思っています。

🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金を活用し、浸水で使用不能となった機械装置の入替えを行いました。また、愛媛県と大洲市から補助金を受け、新しく2.1mの止水壁をつくりました。
- 従業員を送迎していたマイクロバスが被災したため、30名ほどの従業員に2週間程度自宅待機をお願いした際、雇用調整助成金を活用しました。

👤 事業者からのメッセージ

- 今まで、火災を想定した防災訓練を実施していましたが、水害を想定していなかったため、今回の被災を教訓に、水害も想定したBCPマニュアルを作成しました。
- 今後は、ダムの操作規則の改訂など、状況の変化に合わせて適時BCPマニュアルを更新したいと思っています。
- 行政から補助金等の支援を頂きましたが、これはひとえに地域での「雇用を守る」ことが目的と思っています。
- 雇用を守ることは弊社の理念でもあり、地域に存続する意義であると改めて認識しており、この地で復興を成し遂げるため、これからも頑張ります。



森田取締役製造部長 10